



\*この内容は SWIFT が 2017 年 10 月 16 日に発表したプレスリリースの翻訳です。

## SWIFT gpi、外国送金の新たな標準に一取り扱い件数が 200 万件を上回る

*世界のトランザクション銀行 120 行の提供する SWIFT gpi が世界の企業財務により優れた決済を体験しています。*

**トロント 2017年10月16日**– 国際銀行間通信協会 (SWIFT) は16日、クロスボーダー送金の新スタンダードであるグローバル・ペイメント・イニシアティブ (以下 gpi) が 早いペースで浸透し、今年9月に取扱い件数が累計で2百万件を超えたことを発表しました。

SWIFT gpiは外国送金の新たな標準となっており、SWIFTを通じた送金の75%を占める上位120行が採用を決定、この数カ月間にも新たな銀行の参加が続いています。うち24行では、SWIFT gpiで実際に決済業務を行っており、一日に数千の、100カ国にまたがる送金取引が実行されています。2017年の終わりまでには利用銀行は40を超えることが見込まれています。

SWIFTチーフマーケティングオフィサー Christian Sarafidis のコメント:「SWIFT gpiは、外国送金の新たな標準として急速に採用が広まっています。業界と共同開発した独創的なこの試みは、銀行とその顧客に真の価値を提供するものです。gpi送金は、送金依頼受付から24時間以内に入金がなされますが、多くの場合は数時間あるいは数分単位で取引が完了します。企業は銀行からの情報提供により、リアルタイムで送金の追跡が可能になります。」

SWIFT gpiには [ペイメント・トラッカー](#) というクラウドベースのアプリケーションが提供されており、データ連携のためのシステム仕様であるAPI (アプリケーション・プログラミング・インターフェース) を介して接続が可能です。APIを利用する銀行は、追跡情報を顧客向け送金アプリケーションに表示し、企業がリアルタイムで gpi送金を追跡することを可能にしています。

SWIFTバンキングマーケット兼gpi部長 Wim Raymaekers のコメント:「トラッカーはSWIFT gpiの基礎をなすものです。企業から見た外国送金の最も悩む点はその送金がどこにあるかがわからず、受取人がいつ送金を受け取ったかがわからないことです。サーベイによると事実64%の企業はリアルタイムの追跡機能のニーズがあると答えています。SWIFT gpiを提供することにより銀行はこれらの顧客の要望に応え、際立った価値を提供することができるようになります。」

SWIFTはgpiの次期開発プランとして外国送金時の停止と資金回収、拡張情報の提供、送金依頼時での効率性アドバイスなどの、追加機能を計画しています。

SWIFTは平行して [ブロックチェーン技術の外国送金分野への応用](#) を研究しています。30を超えるgpi銀行はSWIFTが開発した分散型台帳技術 (DLT) を利用するアプリケーションを使用し、ノストロ口座照査のリアルタイム化、流動性の最適化に関する機能の検証を実施しています。トロントで10月16日から19日の日程で開催される国際金融会議「サイボス (Sibos)」ではその初期報告を予定しています。機能検証は2017年11月まで実施されます。

イノベーション推進の一環として、SWIFTと銀行は [フィンテック企業](#) との協業も推進しています。APIを活用し銀行が顧客サービスをより改善するためにgpi基盤を活用したアプリやサービスの開発が進められており、Sibosで実証実験結果のデモを実施いたします。

新たにgpiに参加した銀行は以下の通りです。Al Baraka Bank, Asociación Popular de Ahorros y Préstamos, Axis Bank, Banco de Chile, Banco de Crédito del Perú, Banco de Galicia, Banco de Reservas de la República Dominicana, Banco del Pacifico, Banco Inbursa, Banco Sabadell, Bangkok Bank, Bank al Etihad, Bank of Georgia, Bank of Jiangsu, Bank of Montreal, Bank of Ningbo, Bank of Shanghai, Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Bank of Zhengzhou, Bidvest Bank, Budapest Bank, CaixaBank, Cajamar Caja Rural, Canadian Imperial Bank of Commerce, Central Africa Building Society, China Zheshang Bank, Chong Hing Bank, Crédit Agricole, Credit Suisse, CTBC Bank, E.SUN Commercial Bank, Ecobank, GCB Bank, HELABA Landesbank Hessen-Thuringen, ICICI Bank, Ipagoo, Kapital Bank Azerbaijan, Kasikorn Bank, National Commercial Bank, Powszechna Kasa Oszczednosci, Promsvyazbank PJSC, Scotiabank, Shanghai Rural Commercial Bank, Skandinaviska Enskilda Banken, Turkiye Garanti Bankasi, UBS Group, United Overseas Bank, Vietcombank, VTB Bank and Yinzhou Bank.

全銀行のリストは[こちら](#)から入手できます。  
SWIFT gpiの詳細情報は[こちら](#)を参照してください。

-####

#### 国際銀行間通信協会(SWIFT)について

SWIFT はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFT は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

SWIFT は 200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFT は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。また SWIFT は国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFT はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

詳しくは [www.swift.com](http://www.swift.com) をご覧いただくか [@swiftcommunit](https://twitter.com/swiftcommunit) および [LinkedIn:SWIFT](https://www.linkedin.com/company/swift) をフォローしてください。

#### お問い合わせ:

ウェーバーシャンドウィック SWIFT 担当 トウ

03-5427-7411

[swiftjapan@webershandwick.com](mailto:swiftjapan@webershandwick.com)